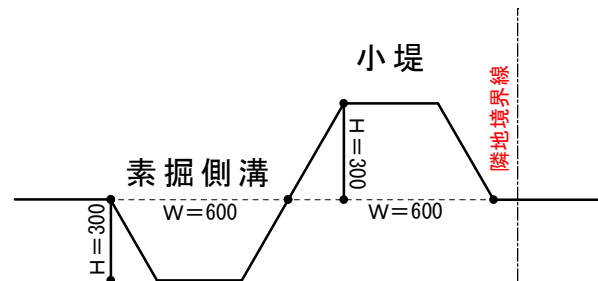


作成例

高さ300以上、幅600以上が望ましい



⑬ 工事中も雨水流出対策をすることとする。

⑫ 素掘側溝・小堤断面図

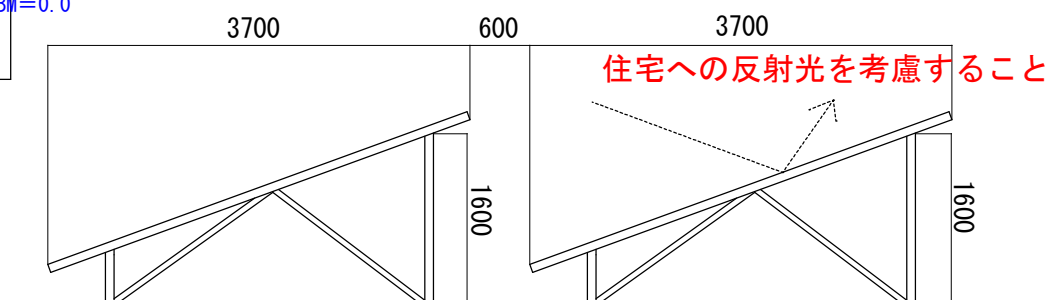
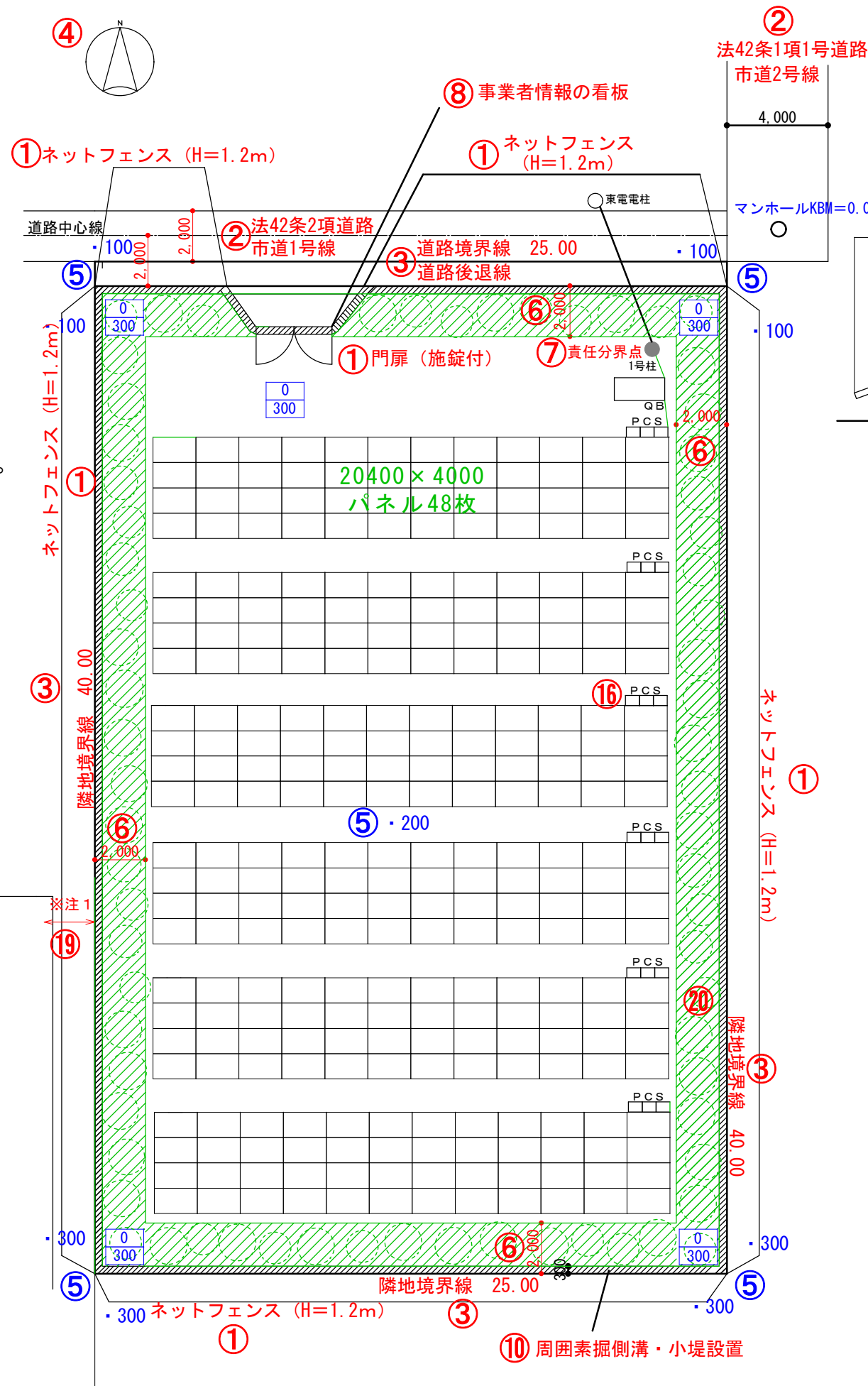
※文字等は赤字などで見やすくすること

隣地住宅

⑨

※注1

住宅等を含む敷地が直接事業区域と接していない場合でも、事業区域外周部（隣地境界線から事業区域外側に緩衝帯と同等の距離を設けた範囲）に住宅等の敷地が存している場合隣接地に住宅が所在しているものとして扱う



眺望にした高さにすること

アレイ角度	20°
パネル枚数	288枚
1枚あたり定格出力	250W
発電（送電）出力	49.5kW
FIT法	非該当
⑰ 色彩	PCS：白 パネル：黒 フェンス：グレー 架台：グレー

⑱ 凡例	
変電設備又はQB	変電設備 （キュービクル等）
PCS	パワーコンディショナー
PAS・UGS ・UAS等	区分開閉器
●	1号柱（架空線の場合）
設計 現況	地盤高
⑮	中木H=1.8m

株式会社〇〇〇〇

仮称 牛久〇〇太陽光事業

1/300

⑭

土地利用計画図（パネル配置図）

- ①フェンスの高さ、種類の記載
- ②国、県、市道番号、幅員、建築基準法上の道路種別の記載
- ③道路境界線、隣地境界線名の記載
- ④方位の記載
- ⑤現況レベルと計画レベルの記載
- ⑥事業区域面積に応じた緩衝帯の幅の記載
- ⑦責任分界点、区部開閉器の図示
- ⑧看板の設置場所の図示
- ⑨隣地に住宅がある場合、住宅の図示
- ⑩雨水流出対策の記載
- ⑪パネルの角度、枚数、定格出力、発電出力、FIT 法の該当の記載
- ⑫雨水流出対策の詳細内容（浸透施設の詳細、周囲小堤、素掘側溝等の高さの図示）
- ⑬工事中についても雨水・土砂流出対策の旨の記載
- ⑭縮尺 1000 分の 1 以上
- ⑮植栽等の高さの記載（1.8 m～2 m）
- ⑯パネル、PCS、変電設備等の位置の記載
- ⑰設備の色彩の記載
- ⑱変電設備、地盤高など凡例の記載
- ⑲事業区域外周部に住宅等の敷地が存している場合、植栽等の設置（隣地境界線から事業区域外側に緩衝帯と同等の距離を設けた範囲）
- ⑳植栽等を設置する場合、出入口を除く緩衝帯の範囲内すべてに植栽が設けられているか